

【 「春一番」の強風に注意 】

晩冬から早春にかけ、広範囲で始めて吹く強い南風を「春一番」と呼ぶ。定義は 期間は立春から春分の日までの間であること 最大風速が 7～8m/s 以上の南よりの風であること 気温が前日より 2～3度高くなることだ

さて、南よりの風とは、東南東（121.5 度）～西南西（247.5 度）の間の方向から吹いてくる風をいう。「春一番」という言葉を耳にすると、「暖かい」「春の訪れが近い」など明るいイメージを連想される方が多いことだろう。

しかし、春一番は、現実には日本海で猛烈に発達する低気圧となることが多い。

したがって、強風により山や海で遭難を引き起こしたり、農家のビニールハウスを壊す他に、時には陸海空の交通機関に甚大な影響を与えることがある。

また、積雪の多い高い山では、急激な気温の上昇に伴う雪崩や融雪洪水の危険性がある。さらに、日本海側の地方は、フェーン現象で山を下る空気が乾燥し、大火災の恐れさえある。最近では、強い南風と高温がスギ花粉の大量飛散の引き金になることが報告された。

春一番は、言葉の優しい響きとはほど遠く、春の狂風と呼んでも過言ではない。

春先には、入念に天気図をチェックし、低気圧の卵が黄海や九州沖に現れ、発達しつつ日本海を進む恐れのある時は嚴重な注意が必要になる。ハウス農家等は、風害を最小限に抑える早めの対策を取ることをお勧めする。

（ 気象情報システム株式会社 高 津 敏 ）

ご参考) 東京都花粉飛散状況は[こちら](#)です (スギまたはヒノキの花粉)。